

生ごみ処理機の購入者に助成金を交付

助成金額 購入費用の3分の2以内で3万円を上限とします

申し込み 購入した年度内に環境課へ

必要なもの 領収書(商品名が明記されているもの)

印鑑、申請者本人の口座番号

一般家庭で使用するものに限ります。

生ごみ処理機とは…

電気を利用して、微生物による発酵分解を早め、生ごみ

を有機肥料にリサイクルするものです。

生ごみ処理機(ゴミナイス)交換用ホールチップ

町と環境保健委員会であっせんしてきました電気式生ごみ処理機(ゴミナイス)は、

環境課

内線 162

約3か月に1度ホールチップを交換する必要があります。必要な方は、環境課で取り扱っていますので購入してください。

詳しくは、環境課へお問い合わせください。

ごみ減量化器具でごみ減量にご協力を！

町と環境保健委員会では、増え続けるごみの減量化を図るため、一般家庭を対象にごみ減量化器具のあっせんを行います。この機会にぜひ一家に1台設置していただき、家庭から出る生ごみの自家処理にご協力ください。

申込方法 電話かEメール
いずれかの方法で環境課へお申し込みください

☎(84)3111

Eメール kankyo@town.me
iwa.gunma.jp

申込期限 7月15日(金)まで
器具の配布 7月末(予定)

生ごみ処理槽

(わんだーBOX200型)

蓋をしつかり閉める

設置方法 土を掘りおこし、土中に5cm〜10cm位埋めて設置します

使い方 生ごみ、雑草、落ち葉などを投入し、厚さが約20cm位になったら土を2〜3cmの厚さにかぶせ、また、その上に生ごみ等を投入していきます

投入した生ごみ等は、土中のバクテリアの発酵・分解作用により堆肥となります。

発酵が終わった生ごみは、家庭菜園等の有機肥料としてお使いください。

また、寒い時期には、生ごみが発酵しにくいいため、交換用として2個あると便利です。

生ごみ処理容器

(EMサポートR15)

使い方

水切りした生ごみを容器の中に入れる
EMボカシをふりかける

環境課

内線 162

あっせん器具一覧表

	あっせん器具	あっせん価格	備考
A	生ごみ処理槽(わんだーBOX200型)	2,800円	一世帯 2個まで
	無臭元(ボトル入り)	710円	何本でも可
	パラコンポ(生ごみ害虫駆除・消臭剤)	520円	
B	生ごみ処理容器(EMサポートR15) (EMボカシ1袋付き)	1,000円	一世帯 2個まで

一般家庭で使用するものに限ります。